



ガバナー月信

vol.05 Nov / 2025



月信11月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 第3分区IM
- ③ 第4分区IM
- ④ 第1回米山記念奨学委員長セミナー
- ⑤ 第1回第一分区新発田エリア献血キャンペーン
- ⑥ 第7分区IM
- ⑦ 危機管理委員会
- ⑧ 地区ラーニング委員会
- ⑨ 地区主要行事予定(11月・12月)
- ⑩ 新入会員紹介・訃報
- ⑪ コーディネーターニュース
- ⑫ ハイライトよねやま



国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー
室賀 信宏 (白根 RC)

最近めっきり寒くなりましたが、皆様におかれましては体調を崩さないようにお気をつけてお過ごしくださいませ。

さて、この原稿を書いております 10 月 20 日現在では、地区大会の準備が佳境を迎えております。ホストクラブである白根クラブを始めとし、コ・ホストクラブの多くのメンバーにご協力をいただき、慌ただしく準備を進めているところであります。私は本年度すでに 4 地区の同期ガバナーにより開催されました地区大会 (9/6 ~ 7 RID2780 神奈川県厚木市、9/28 RID2550 栃木県宇都宮市、10/11 ~ 12 RID2510 北海道函館市、10/18 ~ 19 RID2730 宮崎県延岡市) に、参加してまいりました。各地区とも特色があり興味深いものがありました。しかしながら各地区ともにコロナが明けてからの各地区大会開催は、変化が生じたそうです。地区大会に向け、アレツツォ RI 会長は、「地区大会 は、共に達成したことを振り返り、革新的なアイデアを分かちあい、未来に向けてさらに強いロータリーを築いていく準備をする機会となります。本年度、私たちはよいことのために手を取りあいます。ロータリーを成長させ、行動計画に命を吹き込み、ポリオを永遠に根絶し、そのレガシーを土台として新たな課題に立ち向かうなど、私たちには大きな仕事が待ち受けています。次世代の参加を促し、自分たちの視野を広げ、ロータリーの使命に新鮮な活力をもたらすために、夢を大きく持ちましょう。また、そのために協力して新クラブを設立し、柔軟な例会形式を採用し、地区間の協力を促しましょう。機会は無限大です。今地区大会では、将来の可能性に目を向け、達成を共に祝いながら、よいことのために手を取りあっていただけることを願っております。」と、メッセージを発信されております。私たちは日頃のロータリー活動や各クラブの在り方、地区大会、IM の開催において、伝統を引き継ぐことも大切ですが、常に革新的でなければならないと考えております。地区大会では普段お会いする機会が少なくなった旧友と交友を深めたり、今後のロータリー活動のインスピレーションとなることを期待しております。



第3分区IM インターナシティーミーティング報告

IM 実行委員長
市川 進一 (新津 RC)

9月23日土曜日に新津ロータリークラブ主催第2560地区第3分区、IMが新津駅前新潟薬科大学4階の大講義室で開催されました。4年前の新津ロータリークラブ主催のIMは、SARSコロナウイルス2、いわゆる新型コロナウイルス流行の真っ最中で、誌上開催を余儀なくされました。今回は、久しぶりの対面での開催となりました。基調講演は、国際ロータリー第2560地区、室賀 信宏ガバナーより、世界中のロータリーの中で会員増強が成功している台湾での状況を「台湾ロータリーの現況」というタイトルでお話を伺いました。夜例会や会場の柔軟性など、多くの参考になるお話を伺いました。今年度の国際大会は6月に台湾で開催されます。また、記念講演は日本酒を楽しむ女性コミュニティー、にいがた美釀主宰の村山 和恵様にお話を伺いました。日本酒を好きの女性が集まり行なった様々な地域活性化につながる活動について、貴重なお話を聞きすることができました。懇親会は新潟薬科大学近くの日本料理 桧形屋で行なわれました。にいがた美釀太鼓部「醉龍」による圧巻の笛と太鼓のアトラクションが行なわれました。また、5年ごとに、にいがた美釀で作っておられる日本酒「男まさり」、「女ざかり」も提供していただきました。おいしい料理と楽しい会話で、時間はあっという間に過ぎ、最後は手に手を開いてで中締めとなりました。





第4分区IM報告

第4分区ガバナー補佐
青柳 修次 (燕 RC)

IM開催につき「ロータリーの友」野崎編集長基調講演、講師提案でアンケートを全会員に事前にお願いし、まとめ結果を事前に各会員に配布し会議を行いました。

第4クラブは2560地区最多11クラブ、会員数340名の内で参加者は170名を超えるからのRCの在り方について20テーブルに分かれバラバラな構成で会議を行いました。

会議はとても有意義であり、お互いの思いを伝えあい楽しく素晴らしいIMとなりました。

また、これからのRCについての会議ですので来賓として室賀ガバナー、富山ガバナーエレクトにも参加いただきました。

【第4分区アンケート報告（要約）】

2025年8月下旬から9月中旬にかけて実施したクラブ別アンケートでは、第4分区11クラブの会員の皆様より多くの貴重なご意見をいただきました。回答からは、ロータリーへの入会動機として「知人・先輩からの推薦」や「父親の影響」「地域貢献・自己研鑽への共感」が多く挙げられ、奉仕の精神が代々受け継がれていることがうかがえます。好きな活動では、「例会」「親睦」「社会奉仕」への支持が圧倒的で、世代や職業を超えた交流の場としてのロータリーの魅力が再確認されました。入会して良かった経験としては、「異業種・異世代との出会い」「地域社会への理解の深化」「世界大会など国際的交流」が多く、ロータリーを通じた人間的成长とつながりの価値が強調されました。一方で、「会員減少・高齢化」「運営の簡素化」「会費負担」「英語用語の多さ」など現実的な課題も指摘され、分区再編や活動の柔軟化を求める声も寄せられました。総じて、会員の皆様がロータリーの理念に共感しつつも、時代に合った新しい形の奉仕と交流を模索している姿が浮かび上がりました。本アンケート結果は、今後の第4分区および各クラブ活性化の貴重な指針となるものです。



第1回米山記念奨学委員長セミナー

米山記念奨学委員会

委員

大野 博美 (新発田城南 RC)

2025年10月4日(土)、ホテルイタリア軒で2025-26年度米山記念奨学委員長セミナーが開催されました。お忙しい中、室賀信宏ガバナーをはじめとした各クラブ会長・米山記念奨学委員長の皆様にはご参加をいただき、感謝申し上げます。

はじめに第2560地区 室賀信宏ガバナーからご挨拶をいただき、続いて、渡邊嘉子米山記念奨学委員長よりご挨拶をいただきました。

体験発表では米山記念奨学生のニシャンジ エブルさんとペレスエレラ アンドレアさんのお二人から、自己紹介、母国のこと、米山記念奨学生になってからの活動や経験した事などをスライドを使用して発表がありました。

次に米山学友のお二人からご講演をいただきました。お一人目の余子慶(ヨシケイ)さんからは米山記念奨学生としてロータリーで学んだ事、体験した事がいかに貴重であり大切であるかを現在の研究報告に交えてお話していただきました。お二人目のバウベククズ ジャンサヤさんは学友会会長でもあり、ロータリー、学友会のイベントなど多岐にわたりご協力をいただき、そしてご活躍されています。サヤさんは日本企業に就職されており、職場でのこと、日常のこと、そして関わっている活動についてジョークを交えて楽しくお話を下さいました。お二人とも聴きやすい、きれいな日本語でお話しさされました。

その後、織戸潔寄附増進委員長より寄付実績の報告があり、米山記念奨学事業への引き続きのご理解とご協力への切なるお願いがありました。

最後に渡邊嘉子米山記念奨学委員長より母国で活躍している米山学友から届いたショート動画の上映があり、確かにつながっている学友たちがいる事を実感できたのではないでしょうか。

米山記念奨学生を迎えて、サポートし、学友との絆をつないでいく米山記念奨学事業を継続して行く為には各クラブの会長と米山記念奨学委員長のご協力、ご理解はとても大切なものです。何卒宜しくお願い申し上げます。





第1回第一分区新発田エリア献血 キャンペーン合同事業

献血キャンペーン実行委員長

莊司 寿伸 (新発田城南 RC)

10月5日（日）イオン新発田店に於きまして「国際ロータリー第2560地区第一分区 新発田エリア献血キャンペーン合同事業」を開催させていただきました。

近年、献血者は減少傾向にあり、特に若年層の献血離れによって、今後血液供給に影響が出ることが懸念されているそうです。このような状況の中、病気と闘っておられる方々への輸血を支援すると共に、将来の日本を背負う子供たちと、我々の世代が献血を通して日本の未来と一緒に考え、行動する機会を提供したいとの思いから、若い方々と行動をともにする試みといたしました。

当日は新潟県赤十字献血センター様の献血車を配備し、高校生・大学生など若者の皆さんによる献血への呼びかけ、さらに子供たちを対象にした化学実験体験「ジュニアサイエンスラボ（人体とくすぐりの不思議体験）」（協力・新潟東 RC）も同時開催いたしました。

この事業を企画するにあたり、お声がけをいたしましたところ、市内2クラブ（新発田・新発田中央 RC）から共同開催の快諾をいただき、新発田 RAC・新発田商業高校 IAC・新発田中央高校 IAC を交えた合同事業に発展。さらに近隣のクラブ（豊栄・中条胎内・水原 RC、新潟・三条 RAC）から続々とご協力の申し出があり、80を超える企業・団体様からのご協賛もいただき、地域を巻き込んだ一大事業となりました。

あらためてロータリーの友情の素晴らしさを実感した次第であります。

元気な声で献血の呼びかけをしてくれた若い世代と我々ロータリアンが、よいことのために手を取りあつた、素敵なものでした。





第7分区第32回IM開催について

第7分区ガバナー補佐
小田島 修平 (糸魚川RC)

10月11日（土）に第7分区のIMが糸魚川市のホテル國富アネックスにて、午後2時より開催されました。第7分区の7クラブと1つの衛星クラブより128名の参加となりました。第1部式典ではIM記念事業として、上越市にある児童養護施設「若竹寮」へ新米を寄贈させていただきました。若竹寮を運営している社会福祉法人「みんなでいきる」の大島理事長より感謝のお言葉、小林本部長より若竹寮の現状と取組みをお話しいただきました。

第2部の記念講演では「My Rotaryを活用しよう」と題して、ラーニング委員会委員長の高橋秀樹パストガバナーよりご講演をいただきました。My Rotaryがなぜ必要かをラーニング形式で示しました、活用事例を実際のHPを通じて実践いただきました。各クラブとも若い会員が増えていますし、入会のターゲットとなる方も若い人が多いと思います。これからはインターネットを活用したソーシャルネットワークサービス（SNS）が欠かせなくなっています。今後、よりスムーズなクラブ運営と会員増強に繋げていただけると思います。その後、次年度ガバナー補佐の紹介とホストクラブ高田東RCの会長より挨拶をいただき第2部は終了しました。

第3部の懇親会では、アトラクションに上越を中心に活動している「JAZZ LIVE」によるジャズ演奏の後、大谷パストガバナーより乾杯していただき、分区内の親睦を深めました。また、9月27日に行われたIM記念親睦ゴルフ大会の表彰式を行い、和やかに終了いたしました。





危機の根底にあるもの

危機管理委員会
委員長
高橋 秀樹 (新潟 RC)

今年度に関して、危機管理委員長として2件の全国会議に出席し、地区危機管理委員会を1度開催しました。

全国会議である青少年交換全国研究会（6月6～8日於青森）と第14回地区危機管理委員長会議（10月5日於AP八重洲）では、一口に危機と言っても様々なものを意識する必要があり、地震、津波、台風、豪雨、洪水、土砂崩れなどの自然災害、感染症、食中毒、熱中症などの健康被害、交通事故、火災、関係する青少年の学校での事故などの事故全般、ハラスメント、犯罪などの重大事件などが挙げられるとの説明がありました。しかしそのなかでも特に近年話題になりやすいのがハラスメント関係であり、対処方法として嫌なことははっきりと断ることができること、もし事案が発生してしまった場合、青少年に関しては厳密にいわゆる72時間ルールを守ること、ロータリーで定めた手続きを疎かにしないことなどが強調されました。また、そもそもハラスメントが発生する理由として、無意識のバイアス（偏見）があり、これは全ての人が有しているものであり、ジェンダーのバイアス、帰属のバイアス、確証のバイアス、美のバイアス、親近感のバイアス、ハロー効果、ホーン効果などに分類されるとの説明がありました（それについてここで詳説しませんが、ぜひ一度調べてみてください）。常日頃の言動に注意を怠らないよう、各地区で注意喚起を徹底するよう要請されました。

地区危機管理委員会は、10月14日（火曜日）にホテルオークラで開催されました。危機として扱われる具体的な事案について情報共有し、身近なところに危険があることを再認識しました。今後の改革として、IT関係の有識者を委員に迎えるべきではないか、との意見が出されました。

一旦危機事案が発生すると、その影響は長く深くロータリーを傷つけます。地区の皆様におかれましては、危機管理について今一度お考えいただきたくお願い申し上げます。





ガバナー補佐ラーニング Part1 開催のご報告

地区ラーニング委員会

委員

高橋 健 (白根 RC)

2560 地区ロータリアン皆様におかれましては、日頃より地区ラーニング委員会の活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、去る 9 月 20 日 (土) まちなかキャンパス長岡にて、ガバナー補佐ラーニング Part1 を開催させていただきました。当日は富山ガバナーエレクトをはじめとした富山年度ガバナー補佐、また富山年度地区役員の皆様など総勢 23 名からご参加いただきました。

はじめに富山ガバナーエレクトより挨拶があり、地区ラーニング委員会によるラーニングがスタートしました。まず、高橋秀樹地区ラーニング委員長より、地区ラーニング委員会の活動要点や役割について説明が行われました。ガバナー補佐ラーニング開催の意義、ガバナー補佐の皆さまの地区やクラブにおける役割や立ち位置などを確認し、過去実際に起こった災害時の事例を元にお話があり、ガバナー補佐というポジションの重要性について、ファシリテーション形式を取り入れ、講義により行されました。

その後、地区ラーニング委員会により、ガバナー補佐就任までのスケジュール感や活動準備についてメインにラーニングを行いました。ガバナー補佐の活動は多岐に渡ります。



(高橋地区ラーニング委員会委員長)



(ラーニングを受講するガバナー補佐候補)

ガバナー補佐が司令塔となり、クラブの活性化を支援協力する事を軸として、ガバナー・地区・クラブそれぞれの架け橋を担っていただく事が大切になる事を確認いただきました。

架け橋になる為にも積極的なクラブ訪問や周辺の方々との密なコミュニケーションをとり関係を深めていくことが、ガバナー補佐の役割であり責任であるとも説明させていただきました。

ガバナー補佐ラーニングを受講されて、「地区チーム」が一丸となり 2560 地区内のクラブ支援を充実させ、クラブ活動がさらに活性化するよう取り組んでいただきたいと思います。

また、地区ラーニング委員会では、参加者の知識定着化や交流・議論の活性化の観点から、「講義形式」から「ファシリテーション形式」による開催方法にシフトしております。

地区ラーニング委員会としても、ラーニングによるファシリテーション形式に不慣れな面もあり、至らぬ点は多くあるかと存じます。地区ラーニング委員会として、充実した研修会を開催できるよう日々取り組んでおります。今後とも、皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申しあげます。



第2560地区 2025-26年度9月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	/	-	378	380	45	2
新発田	4	31.9%	90	91	1	1
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	2	1
中条	4	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	4	23.7%	38	38	5	0
豊栄	2	35.0%	21	20	2	-1
新発田中央	4	15.6%	44	45	6	1
中条胎内	3	52.5%	39	39	11	0
村上岩船	4	26.9%	26	26	7	0
第2分区(9クラブ)	/	-	453	471	37	18
新潟	3	35.4%	74	76	3	2
新潟東	4	17.8%	66	73	12	7
新潟南	4	38.5%	114	117	8	3
佐渡	1	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	63.2%	53	57	4	4
佐渡南	4	11.6%	43	43	3	0
新潟北	4	30.0%	37	40	1	3
新潟中央	3	37.5%	24	24	0	0
新潟万代	2	57.9%	39	38	6	-1
第3分区(5クラブ)	/	-	97	100	9	3
新津	3	62.5%	16	16	1	0
村松	4	68.4%	19	19	1	0
白根	4	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	40.0%	25	26	5	1
阿賀野川ライン	3	40.0%	5	5	0	0
第4分区(11クラブ)	/	-	343	344	33	1
三条	3	17.9%	54	56	1	2
燕	3	7.5%	41	40	3	-1
加茂	3	14.8%	27	27	4	0
三条南	3	20.5%	38	39	3	1
分水	4	66.7%	33	33	4	0
見附	3	10.0%	20	19	1	-1
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	3	19.6%	46	46	5	0
巻	3	8.7%	22	23	2	1
田上あじさい	3	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	23.5%	34	34	5	0

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2025年 7月1日	9月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	/	-	283	289	28	6
長岡	3	62.2%	43	45	5	2
柏崎	4	25.0%	45	48	0	3
長岡東	3	32.1%	57	56	7	-1
柏崎東	3	19.5%	38	41	4	3
栃尾	4	26.3%	19	19	1	0
長岡西	3	22.7%	46	44	1	-2
柏崎中央	2	27.8%	35	36	10	1
第6分区(6クラブ)	/	-	117	119	14	2
十日町	3	26.3%	38	37	8	-1
小千谷	3	17.9%	25	28	3	3
雪国魚沼	3	76.0%	25	25	2	0
十日町北	2	0.0%	9	10	1	1
津南	4	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	4	50.0%	8	8	0	0
第7分区(7クラブ)	/	-	305	314	22	9
高田	2	38.5%	63	65	3	2
直江津	3	34.2%	74	76	6	2
新井妙高	2	21.6%	36	37	1	1
糸魚川	4	81.4%	45	45	3	0
高田東	4	51.6%	30	31	2	1
糸魚川中央	3	51.5%	30	33	3	3
越後春日山	3	81.5%	27	27	4	0

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
9月末会員数	2,017 人
女性会員数	188 人
純増減会員数	41 人
My Rotaryアカウント登録率	35.7 %

地区主要行事予定

2025年10月21日現在

年	月	日	行 事	会 場	
ロータリー財団月間					
2025年 (R7) 室賀年度	11月	1	(土) 富山年度 クラブ会長幹事ラーニング	当間高原ホテルレベルナティオ	
		4	(火) ③新津中央RC 公式訪問	割烹 一楽	
		5	(水) ①新発田中央RC 公式訪問	割烹 志まや	
		6	(木) ⑦糸魚川IRC 公式訪問	ヒスイ王国館	
		7	(金) ⑦糸魚川中央RC 公式訪問	ヒスイ王国館	
		8	(土) 高田RC創立70周年記念式典	デュオ・セレッソ	
		8	(土) 米山記念奨学生学友会総会	ホテルオーデラ新潟	
		11	(火) ④三条北RC 公式訪問	三条ロイヤルホテル	
		12	(水) ③新津RC 公式訪問	割烹 梶形屋	
		13	(木) ⑥十日町RC 公式訪問	十日町商工会議所	
		14	(金) ④吉田RC 公式訪問	高志の宿 高島屋	
		17	(月) ロータリー財団地域セミナー	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		18	(火) 第2回ガバナー会議	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		18	(火) RI会長ご夫妻・TRF管理委員長歓迎懇親会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		18	(火) メジャードナー午餐会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		18	(火) ガバナーノミニーラーニング・セミナー (GNLS)	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		18	(火) 第2回ガバナーエレクト・ラーニング・セミナー (GELS #2)	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		19~20	(水~木) 第54回ロータリー研究会	パシフィコ横浜、横浜ロイヤルパークホテル他	
		22	(土) 2025-26年度長期派遣学生選考試験	ホテルオーデラ新潟	
		22	(土) 米山記念奨学生面接委員オリエンテーション	ホテルオーデラ新潟	
		27	(木) ③阿賀野川ラインRC 公式訪問		
		29	(土) 地区ロータリー財団 補助金管理セミナー	ホテルイタリア軒	
12月	疾病予防と治療月間				
	4	(木) ④燕RC 公式訪問	燕三条ワシントンホテル		
	6	(土) 富山GE渡米壮行会・地区諮問委員会・第1回地区運営会議	ホテルオーデラ新潟		
	7	(日) 全国青少年交換委員長会議	東京都		
	11	(木) ④三条東RC 公式訪問	三条ロイヤルホテル		
	13	(土) ROTEX会議	新潟市内		
	13	(土) 第1回派遣学生オリエンテーション・クリスマスパーティー	ホテルオーデラ新潟		
	18	(木) ③白根RC 公式訪問	サルナート吉運堂		
	20	(土) 米山学友会クリスマス会	割烹 一楽		
	未定	インタークト献血奉仕活動	新潟市、上越市		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
新潟西	渡辺 文司	2025.09.11	(株)コンフォルト	代表取締役	建築設計
新潟	高橋 智尚	2025.09.30	日本生命保険(相)	新潟支社長	生命保険
中条	鍋島 文敏	2025.10.01	(有)クリスティ	取締役社長	情報サービス
十日町	菊池 要一	2025.10.02	東日本旅客鉄道(株) 信濃川地域共創事務所	所長	運送・輸送業
高田	小林 大輔	2025.10.03	(株)城東電工	代表取締役社長	電気工事
長岡東	高橋 晋	2025.10.08	長岡マイカープラザ(株)	代表取締役	中古車販売
高田	岩井 弘人	2025.10.10	(有)タカデン	代表取締役社長	電気工事





第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター 新井 和雄（下館 RC）

ロータリー財団は、社会に持続可能な良い変化をもたらすための活動を支えています。例えば、平和構築と紛争予防や環境の保護、地域社会の経済発展、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康など7つの重点分野に焦点をあてた補助金プログラムは、ロータリーの支援を必要としている人々に希望の光を届けています。またポリオ根絶活動は、国際的な連携により感染者数を劇的に減少させる成果を挙げています。

本稿では、これら重点分野の最初に掲げられ「平和構築と紛争予防」に貢献する人材育成の取り組みとして、ロータリー平和センターについてご紹介いたします。

ロータリー平和センタープログラムは、1999年に創設され2002年に初の平和フェローが誕生しました。現在、世界に7つのセンターがあり、115カ国以上から1,500人を越える平和フェローが卒業しています。日本では、国際基督教大学(以下ICU)がアジア唯一の平和センターとして選ばれ、平和研究の修士号を取得する2年間のプログラムを提供しています。そして、ICUの所在地である第2750地区とその周辺6地区により「ホストエリア」が組織され、文化交流や研修旅行、修了式などの活動が展開されています。

さらに、インドのプネーにあるシンビオシス国際大学に、修了証プログラムの平和センターが新設されることが決定しており、2026年に募集を開始し、2027年から受け入れを開始する予定です。

ここで、ICUロータリー平和センター長である新垣修教授の新たな取り組みをご紹介しましょう。新垣教授は、従前の広島研修旅行を日本ならではの平和教育の場と位置づけるとともに、新たに東日本大震災の被災地に着目し、災害の視点から東北研修旅行を導入されました。教授は、そこにあるのは苦難だけではなく、立ち直っていく人々の力強さや希望であり、海外では災害が武力紛争を引き起こす事例も少なくないことを指摘されています(新垣 2025)。そして、平和構築の課題として「戦争の記憶」と「災害の経験」という二つの異なる文脈から平和を学ぶ点に触れ、日本の平和センターの価値をさらに高めておられます。

この平和の使者たちを世界に送り出すプログラムは、ロータリー財団から毎年400万ドルを超える資金が投下されており、ロータリーが如何に平和構築に力を入れているかがおわかり頂けると思います。加えて前述した日本ならではの活動は、日本全国のロータリー会員全員のご協力によって支えられています。ここに、世界平和を希求する皆様の思いに深く敬意を表するとともに、皆様の地区から世界へ羽ばたく平和フェローの推薦をお願い申し上げます。

(引用) 新垣修、ロータリーボイス、2025

「戦争の記憶」と「災害の経験」の継承— ICUロータリー平和センターの新たな挑戦 —
ICUロータリー平和センター、センター長 新垣 修





第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 宮崎 陽市郎（東京三鷹RC）

ロータリー会員の皆様お元気ですか、ARPIC の宮崎陽市郎です。

所属は東京三鷹 R C です。今月のコーディネーターNEWS では、「ポリオ根絶活動をどのようにロータリーの公共イメージ向上につなげて行くか」という私の個人的な活動を紹介したいと思います。

皆様の記憶に残っていると思いますが、2020 年 8 月 25 日に世界保健機関 (WHO) がアフリカ地域での野生株ポリオウィルス根絶宣言がされ、この歴史的出来事をマスメディアでは大きく取り上げて報道されました。しかしどの番組や記事を見ても「ロータリークラブ」という言葉は使われませんでした。嬉しさと、残念さが入り混じり憤りさえ感じたことを今でも覚えています。これをきっかけに私は決意したのです。ガバナーエレクトであった 2022 年 10 月にロータリーの取り組んでいるポリオ根絶活動の周知と寄付を募るために、「ポリオ根絶日本縦断サイクリングチャレンジ」として、北海道稚内から鹿児島県の佐多岬まで 2700 キロを 23 日間で走破しました。当時の佐藤 RI 理事のお声がけで、各地区のガバナーやガバナーエレクトの協力を得て、新聞やテレビの取材を受け、寄付も 2000 万円を集めることができたのです。



翌年のガバナ一年度には、新潟柏崎から東京の有明まで走るサイクリングチャレンジを行い、私ども第 2750 地区のポリオ根絶イベント会場にゴールいたしました。4 月には大阪から日本橋までの 520 キロを 30 時間で一気に走るチャレンジを決行しました。

昨年の 2024 年 10 月の世界ポリオデーに合わせ、二度目の日本縦断サイクリングチャレンジを北海道根室から長崎県佐世保の神崎鼻岬まで 2700 キロを 22 日間で走破しました。

北海道釧路では NHK の取材を受け、その日の夕方には何度もテレビで放映されました。この年は、Raise for Rotary というサイトで寄付を募りました。このサイトはクラブや個人の活動を紹介し SNS で活動を発信し、ロータリー以外の方の寄付を募り、又ロータリー会員の寄付はご自身のロータリー財団への寄付実績になります。チャレンジ・お祝い・記念日・自分の得意なことを行い、サポートしたい内容を選ぶことができます。例えば、ポリオプラス基金・ロータリー災害救援基金・WF(国際財団活動資金)・7 つの重点分野への寄付を募ることができます。

日本では個人の活動で寄付を募る文化はありませんが、海外ではよく行われています。世界を変える行動人としてクラブでの奉仕活動、そして個人の活動を友人やロータリー会員以外の方に伝え、ロータリークラブのイメージ向上を図ろうではありませんか。

マスコミはクラブや地区の活動、ましてロータリークラブという団体の名前はなかなか発信していただけませんが、インパクトある活動は取り上げていただけます。自ら行動するのがロータリーです。



第3地域 行動計画推進リーダー：恒久基金・大口寄付アドバイザー 研川 昭一（熊本江南RC）

現在2つのお役目を頂戴しております。一昨年の今頃、佐藤元 RI 理事より、APC(アクションプランチャンピオン)という聞きなれないお話をありました。第1地域菅原さんと、第2地域桑澤さんとで、一体何をすればいいのだろうかと手探りの日々でした。

ここでこの2年間を振り返ってみたいと思います。その後4半期に1回ステファニー・アーチック RI 会長エレクトとのリモート会議も行われ、少しずつ行動計画推進へ取り組む姿勢が分かってきました。年が明けまして、国際協議会あたりから、クラブ単位まで行動計画を浸透させるために、各地区に地区 APC を設置して欲しいと地域 APC とガバナーエレクトにご依頼が参りました。ガバナーエレクトにはガバナーへ向けた準備が大変な時でしたが、ご協力頂き、5月末には全地区に地区 APC が誕生し、オンラインで行動計画の進め方の話し合いを行い、各地区単位での、クラブへの指導をお願いし、引き続きロータリークラブ・セントラルへの目標入力をして頂くお願いをする運びとなりました。



ただ、混乱しましたのは、同時に3年間計画、3-Year Rolling Goals の登場でした。クラブに継続性をもたらすために、会長、会長エレクト、会長ノミニー、いらっしゃらなければ直前会長を交えて、将来のクラブの姿をイメージし、定量的な数値目標を3年先まで想定して頂き、それを毎年繰り返して頂こうというものでした。しかしながら、肝心のその3年先の目標を入力するツールであるロータリークラブ・セントラルの改修がいつになるか分からず、そこで、第2地域桑澤さんが担当される Japan Portal Site 内において、3年間一堂に見て、入力できるエクセル仕様の入力表が暫定的に作られた訳です。12月に入ってやっとロータリークラブ・セントラルに4つの優先事項に沿って、26項目3年間入力できるよう改修されましたが、残念ながら、3年間を単年度しか見れず、その結果、日本独自にクラブをサポートするグーグルフォームによる、今年度、来年度の目標及び達成状況を設定する方法がスタートすることになりました。

ある意味でロータリークラブ・セントラルに入力しながら、グーグルフォームにも記入するという煩雑さが生まれた訳ですが、今まで、ロータリークラブ・セントラルになかなか到達できなかったクラブ会長さん方にとっては大きな効果を生んでいます。第3地域の APC としての役職を務めまして改めて思いますことは、11の地区は事情も環境もそれぞれに異なるということです。その地区その地区的やり方、クラブそれぞれのやり方を尊重すべきと思いました。さらに、ガバナーによるクラブサポートミーティング、地域リーダーによるガバナーサポートミーティングも始まりました。他のクラブや地区的状況をお互い知ることには大きなヒントがあります。まずは挑戦いたしましょう！

次に、恒久基金/大口寄付アドバイザーとしましても、本年度から活動を始めました。私は32年間、人工透析をしながら、今まで仕事もロータリーも頑張って参りました。その間、多くの方々のご支援、ご理解を頂きました。ひたすら感謝の思いです。当初は、5年か10年程度しか生きられないから、仕事も安心して任せられないと言われることもありましたが、そのたびに、絶対長生きして見返してやると歯を食いしばって参りました。

人工透析には大きな医療費がかかりますが、有難いことに、透析患者は難病指定で特別の保険制度があり、軽い負担で治療を受けることができます。私はいつかどんな恩返しができるかをずっと考えてきましたが、正にこの役職は自分自身にとっても大きなチャンスと思っています。新しい日本の寄付文化を一歩ずつ作って参りたいと思います。

10月は米山月間



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 307

2025年10月14日
発行

1 10月は「米山月間」－ はじまりと歩み －

国際ロータリー理事会が定める「ロータリーの特別月間」に加え、日本独自のテーマとして10月は「米山月間」とされています。では、なぜ10月なのでしょうか。

1975年8月、米山梅吉翁のご逝去（4月28日）にちなみ、命日を含む1週間を「米山週間」と定めることが決まりました。これは、当時一部の地区で行われていた奨学事業の強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を推進することを目的としたものです。

しかし1980年度には、「米山週間」は4月から10月1日～7日へと移されました。その背景にはいくつかの理由があります。まず、「ロータリーマガジン週間」が1978年度から4月に設定され、期間が重なってしまったこと。さらに、4月では各クラブへ送付される事業報告書の内容が

前年のデータになってしまい、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼するのが難しいこと、加えて春の交通ストライキの影響を受けやすいことなど、実務上の課題がありました。そして決定的だったのは、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議・合意が行われた地区大会が、いずれも10月に開催されていたことです。これが「米山月間」が10月に定められた最大の理由とされています。

1983年には「週間」から「月間」へと制度が改められ、以来、10月は米山月間として定着し、今日まで受け継がれています。



2 宝塚大劇場でレクリエーション開催

9月28日、国際ロータリー第2660地区米山奨学委員会主催による年に一度の恒例行事「宝塚レクリエーション」が、兵庫県宝塚市の宝塚大劇場で開催されました。

今年のレクリエーションには、吉川健之ガバナー、吉村昭ガバナーノミニーのほか、松田振興地区米山記念奨学委員長をはじめ12人の地区米山奨学委員、56人の米山奨学生、82人のロータリー会員とその家族、12人の米山学友が参加し、計152人が第一部の懇親会に集まりました。

参加した米山学友は受付や案内を担当しました。同地区米山学友会では、他地区の米山学友



会から新たに転入してきた学友が活躍できるよう、さまざまなイベントへの参加を呼びかけており、12人のうち4人が転入学友でした。

今回のレクリエーションは、第一部の懇親会と第二部の観劇の二部構成で行われました。第一部では、米山奨学生一人ひとりが約1分間の近況報告を行い、続いて転入した4人の米山学友が自己紹介を行いました。その後、全員で宝塚歌劇の舞台を鑑賞。多くの奨学生・学友にとって初めての観劇となり、「迫力に感動した」との声が多く寄せられました。

3 寄付金速報 一 年に1度の米山月間 一

前年同期比

-4.6%

普 -0.01% 特 -10.0%

9月までの寄付金は、前年同期と比べて4.6%減（普通寄付金:0.01%減、特別寄付金:10.0%減）、約1,600万円の減少とな

りました。普通寄付金はほぼ前年並みとなりましたが、特別寄付金が前年同月（単月）より約600万円減少し、全体の寄付額減少に影響しています。10月は年に一度の米山月間です。引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

4 クリーンアップウォーキングで街をきれいに

9月23日、第2770地区米山学友会の主催で、クリーンアップウォーキングが春日部駅中央町第4公園およびその周辺で開催されました。春日部RC、春日部西RC、春日部南RC、春日部イブニングRCをはじめとするロータリー会員26人、米山奨学生22人、米山学友8人など、計63人が参加しました。

参加者は春日部駅から公園に移動し、清掃用具の配布と注意事項の説明を受けた後、4グループに分かれて春日部駅周辺の各ルートを歩きながら清掃活動を行いました。



各グループで公園内を清掃

活動後には懇親会が開かれ、参加者からは「地域に少しでも貢献できて嬉しい」「奉仕活動を通じて交流ができたことが何よりの喜び」といった声が聞かれました。

同学友会会長のスヌワル ディペンドラさん（2016-18／越谷南RC）は今回の活動を通じて、「地域とのつながりを再確認するとともに、今後も楽しく意義ある奉仕活動を続けていきたいです。引き続き、温かいご支援をお願いします」と述べました。

海外米山学友会総会情報

◆韓国◆ 2025年11月8日（土）18:00～

会場：ソウルパシフィックホテル

（11月7日に前夜祭を開催予定）

※申込期限：10月30日（木）

韓国学友会総会

詳細は[こちら](#)



◆台湾◆ 2025年12月6日（土）17:30～

会場：格萊天漾大飯店 GREAT SKYVIEW

（12月5日に前夜祭、12月6日午前にミニツアーを開催予定）

※申込期限：11月12日（水）

台湾学友会総会

申込は[こちら](#)

